

放課後等デイサービス 夢門塾ゆうゆう笠岡 自己評価表

事業所名： 夢門塾ゆうゆう笠岡

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4			・高学年が増えてきているため、遊びの時間にも運動ルームを使い一人ひとりにしっかり遊ぶスペースを設けるよう工夫を行っている。
	②	職員の配置は適切である	4			・職員配置は最低基準より一人以上毎日配置している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			・毎日決まった掃除時間がある。 ・掃除のチェック表を毎日チェックしている。 ・毎日、そうじの時間があり日によりそれ以外もしている。 ・時間が空いたら掃除をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			・毎朝の朝礼で児童の様子を細かく話し合っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			・できている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			・している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			・毎月職員会議を行っている。 ・職員会議が月に1回ある。 ・毎月全員参加の職員会議を行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			・している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			・話し合いをして役割分担を決め実行している。 ・しっかり事前に打ち合わせを行い、計画を立て、管理者のチェック後行事を行う流れが出来ている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			・季節にちなんだ調理やイベントをしている。 ・イベントは職員で案を出し合い、工夫している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			・長期休みにしかできない行事を一か月以上前から決めていき、予約のいる場所へのアプローチは早めに行っている。時には半年以上前から予約を知れて準備していることもある。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			・集団に入りにくい子への個別の配慮も行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・朝礼時に話し合いをしている。 ・毎朝朝礼後にミーティングを行っている。 ・ミーティングで話し合いをする機会がある。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・ミーティング時に話し合ったことを記録している。 ・その日に記録などはするようにしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			・モニタリング時にはできるだけゆっくり保護者のニーズを受け止めるようにしていこうと努力をしている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4			・できている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			・学校との連携も増えてきているので、しっかりと記録を取り正確な情報を発信できるよう、日ごろから準備を行っている。	
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	3		1	・まだできていないので今後の課題だと思う。	
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している				4	・まだ対象児童がいない。 ・対象になる利用時がない。 ・対象にあてはまる児童がいない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4				・相談支援とは密に連携がとれている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4				・するように心がけている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4				・最初の契約時に説明を行い、分からないことの問い合わせには早めの対応を心掛けている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4				・している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	4				・座談会の開催を行っている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				・早めの対応を心掛けている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4				・毎月おたよりを発行している。
	㉗	個人情報に十分注意している	4				・注意できている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				・コドモン・電話・面談等を設けている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	4				・図書館祭りや、地域の行事もしっかり情報収集し参加するようにしている。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4			
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4				・避難訓練が行事の一つになっている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				・職員会議で話し合い、対応を教えていただけている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4				・そのような対象児がいない。 ・今までにそのようなことはない。 ・今までに該当する児童がいなかった。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4				・与薬表をホワイトボードに貼り、職員全員に周知している。 ・できている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4				・朝礼時にヒヤリハットについて話し合いをして改善策を出している。 ・ミーティングで話し合っている。 ・再発防止のために、ミーティングで共通理解し改善案をだしあっている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

- ・自己評価をすることで、できているか、できていないかのチェックができるので良い機会だと感じた。
- ・職員の日々の成果もあり、出来ていることが多い。
- ・できていない項目をきちんと理解できるよう努力していきたい。
- ・保護者評価では、新入児の保護者が知らないため、「いいえ」になっていることが多いので、保護者様評価をもとに契約の際にきちんと説明するように気を付けていく必要がある。
- ・保護者からの目線と、職員サイドの感覚にずれがあるところは説明や、日々の対応で修正していきたい。